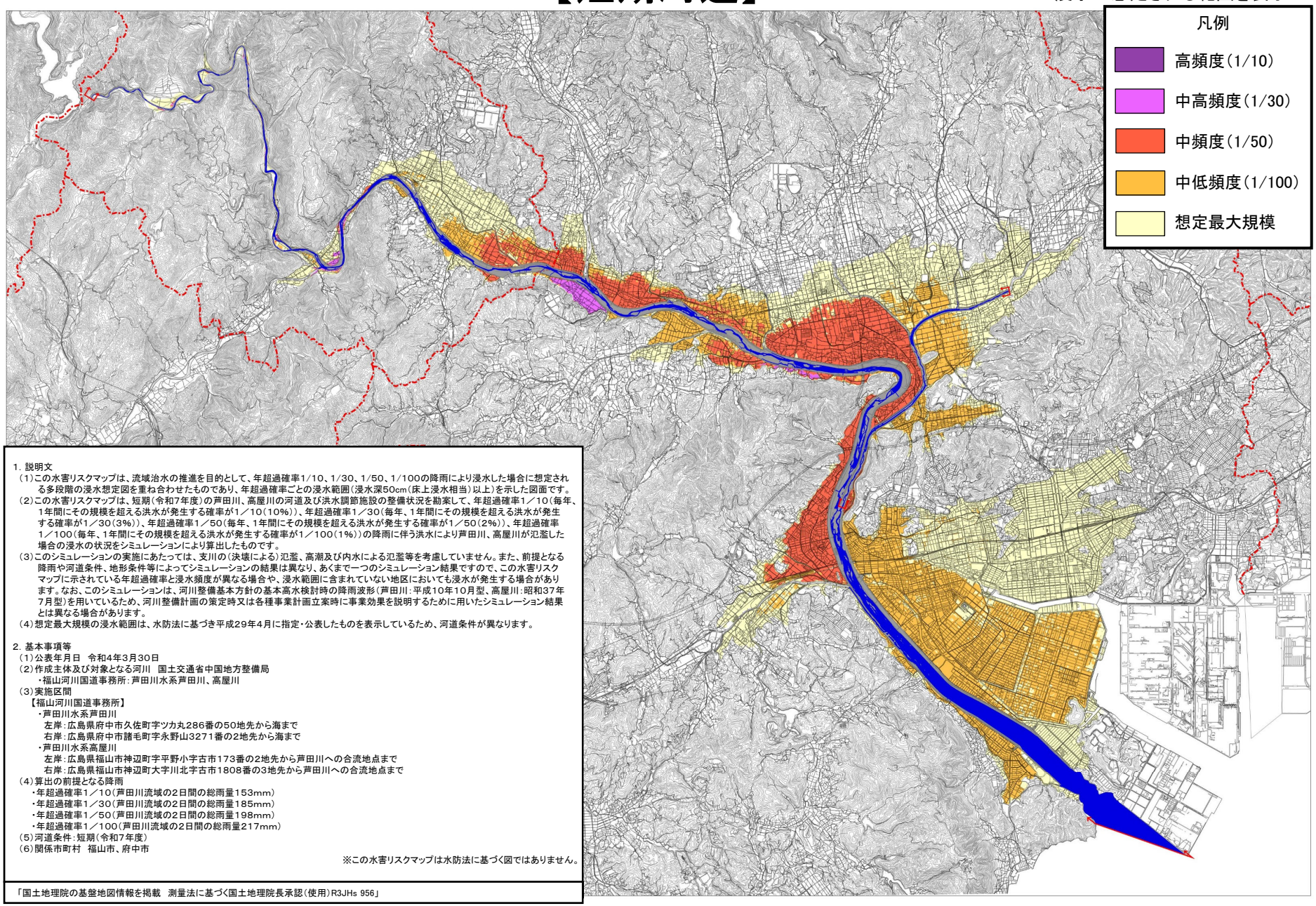
芦田川水系　国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ
【短期河道】

浸水深50cm（床上浸水相当）以上の
浸水が想定される範囲を表示



1. 説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水深50cm（床上浸水相当）以上）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、短期（令和7年度）の芦田川、高屋川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、年超過確率1／10（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／10（10%））、年超過確率1／30（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／30（3%））、年超過確率1／50（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／50（2%））、年超過確率1／100（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／100（1%））の降雨に伴う洪水により芦田川、高屋川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

（3）このシミュレーションの実施にあたっては、支川の（決壊による）氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（芦田川：平成10年10月型、高屋川：昭和37年7月型）を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成29年4月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2. 基本事項等

（1）公表年月日　令和4年3月30日

（2）作成主体及び対象となる河川　国土交通省中国地方整備局
・福山河川国道事務所：芦田川水系芦田川、高屋川

（3）実施区間
【福山河川国道事務所】
・芦田川水系芦田川
左岸：広島県府中市久佐町字ツカ丸286番の50地先から海まで
右岸：広島県府中市諸毛町字永野山3271番の2地先から海まで
・芦田川水系高屋川
左岸：広島県福山市神辺町字平野小字古市173番の2地先から芦田川への合流地点まで
右岸：広島県福山市神辺町大字川北字古市1808番の3地先から芦田川への合流地点まで

（4）算出の前提となる降雨
・年超過確率1／10（芦田川流域の2日間の総雨量153mm）
・年超過確率1／30（芦田川流域の2日間の総雨量185mm）
・年超過確率1／50（芦田川流域の2日間の総雨量198mm）
・年超過確率1／100（芦田川流域の2日間の総雨量217mm）

（5）河道条件：短期（令和7年度）

（6）関係市町村　福山市、府中市

※この水害リスクマップは水防法に基づく図ではありません。

「国土地理院の基盤地図情報を掲載　測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R3JHs 956」